

第6回麻生区区民会議

1 開催日時 平成19年10月5日(金)午後6時~午後8時23分

2 開催場所 麻生区役所第1会議室

3 出席者 [委員]

石田委員、上野委員、小川委員、尾中委員、神本委員、佐藤委員、
菅原委員、高桑委員、田中委員、谷川委員、玉蟲委員、

西谷委員、平林委員、京委員、守田委員

(欠席)飯塚委員、笠原委員、津田委員、松本委員、矢野委員

: 委員長 : 副委員長

[参与]

伊藤参与、勝又参与、山口参与

(欠席)雨笠参与、尾作参与、花輪参与、山崎参与、相原参与、吉田参与

[事務局]

太田区長、秦野副区長、古知屋総務企画課長、板橋地域振興課長、向坂
総務企画課企画調整担当主幹、岩佐総務企画課企画調整担当課長補佐

4 次第

(1) 開会

(2) 報告

1 「川崎市アートセンター」の開館について

2 「川崎再生フロンティアプラン新実行計画(2008~2010年度)
素案」及び「(仮称)新・行財政改革プラン素案」の概要につ
いて

(3) 議事

1 課題の調査審議について

~「心が響きあう地域づくり」~

ア「農」の専門部会からの調査検討経過の報告及び事例の調査審
議

イ「高齢者」専門部会からの調査検討経過の報告及び事例の調査
審議

2 「(仮称)麻生区民フォーラム」の開催について

(4) その他

第7回麻生区区民会議の日程について

(5) 閉会

【配布資料一覧】

「次第」、「委員・参与名簿」、「席次表」

資料1 「農」の専門部会～調査検討経過について～

資料2 「高齢者」専門部会～調査検討経過について～

資料3 「(仮称)麻生区民フォーラム」の開催について(企画案)

別冊資料 川崎市アートセンター オープニングイベント第1弾 リーフレット

川崎再生フロンティアプラン新実行計画(2008～2010年度)素案

(仮称)新・行財政改革プラン素案

かわさき市政だより特別号(2007年9月26日)

タウンミーティング リーフレット

1 開会

委員長 これから第6回麻生区区民会議を始めます。

皆様、酷暑の夏でしたが、お元気でお過ごしてでしょうか。ようやく10月になりまして、何となく秋の涼しさが漂ってきておりますが、今日はまたちょっと暑いので、上着を着ていると汗ばむような気候でございます。

区民会議ももう1年を過ぎまして、2つの専門部会が立ち上がって、それぞれ活動を始めました。皆様方も少しずつ区民会議の内容にもなれてこられたのではと思っております。今日は2つの専門部会からご報告と審議、それから企画部会からの提案もでございます。時間が短いので、十分議論できますかどうか、心配いたしておりますが、よろしくご協力のほどお願いいたします。

それでは、ただいまより始めさせていただきます。

まず、議事に入りますが、初めに、この会議は公開となっております。傍聴者の皆様へのお願いですが、お手元に配付しております遵守事項をご一読いただき、お守りいただきますようお願いいたします。

2 報告

(2)「川崎再生フロンティアプラン新実行計画(2008年～2010年度)素案」及び「(仮称)新・行財政改革プラン素案」の概要について

委員長 それでは、2次第(2)ですが、ちょっと順番を変えさせていただきたいと思っております。「川崎再生フロンティアプラン新実行計画(2008年～2010年度)素案」及び「(仮称)新・行財政改革プラン素案」の概要についてに移らせていただきます。

それでは、この説明につきましては、総合企画局及び総務局をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

総合企画局 総合企画局職員から資料に基づいて説明(別冊資料)

委員長 ありがとうございます。

総務局からよろしく申し上げます。

総務局 総務局職員から説明(別冊資料)

委員長 新実行計画素案と新・行財政改革プランについてご報告をいただきました。

先ほどからもありますように、今月の29日には、麻生市民館でタウンミーティングが開催されるということです。

この件に関しまして、何か委員の皆様からご質問等がありましたらいただきたいと思います。いかがでしょうか。この両プランについて何かご質問はございますか。たった今見たばかりで、まだわかりにくいかもしれませんので、タウンミーティングまでには熟知していただいて、ぜひ参加していただき、ご意見等をお寄せいただけた

らと思います。今何か気がついたことがありましたら。よろしいですか。

それでは、次に移らせていただきます。

(1)「川崎市アートセンター」の開館について

委員長 先ほど報告(2)のほうから先にしてしまいましたが、(1)「川崎市アートセンター」の開館について報告を市民局にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

市民局 市民局職員から説明(別紙資料)

委員長 ありがとうございます。今月の31日にオープンいたします、川崎市アートセンターについてご報告をいただきました。

委員の皆様から何かご質問はございますでしょうか。よろしいですか。

3 議事

(1) 課題の調査審議について～「心が響きあう地域づくり」～

ア「農」の専門部会からの調査検討経過の報告及び事例の調査審議

委員長 それでは、議事に移らせていただきたいと思います。

3の議事、課題の調査審議についてに移らせていただきます。

区民会議では、「心が響きあう地域づくり」を課題テーマとして、2つ目の事例として、「地元農産物と地域の交流」を、3つ目の事例として、「高齢者」を取り上げました。この2つの事例につきましては、専門部会を設置して、調査検討を進めていただいておりますので、それぞれの専門部会から調査検討経過についてご報告をいただき、その中で全体での意見交換を行っていただきたいと思いますと思っております。

それでは、「農」の専門部会から始めたいと思います。

尾中部会長、よろしくお願ひいたします。

委員 それでは、ご報告させていただきます。

お手元に資料1ということでホチキス止めされて、随分分厚いんですけども、それだけ「農」の部会で集まっているいろいろ検討しましたので。

皆さんには、それぞれ部会で検討していても、どういうことをやっているのかということがわからないということもあるということで、1枚めくっていただきますと、「『農』の専門部会～調査検討経過について～」というペーパーが入っていると思います。こちらの方でご説明させていただきます。

第1回から始まりまして、第7回からが前回本会議終了後の専門部会になっております。第5回のときに皆さんに王禅寺小学校をモデル校として選定させていただき、いろいろなことをお願ひするというので同意を得ましたので、その後、私どもの委員の方で、王禅寺小学校を訪問し、いろいろな説明をしてきました。区民会議の全体

の「心が響きあう」ということを含め、学校の方のニーズ、あるいは現状等を確認してきました。

それを受けまして、第8回専門部会で報告し、今後の進め方を検討しました。その訪問時に王禅寺小学校にニーズ調査を行いましたので、そのニーズというものを回答いただきまして、そちらの方が4ページにあるんですけども、こちらの上段にあるものが、このときに学校の方からニーズとしていただいたものです。

これを見ていただきますと、対象ということで、学校全体のところで校外農園として「さつまいも」づくり、あと1年生、2年生においては球根と野菜の育て方とか植え方を教えてほしいというニーズをいただきました。我々としては、いろいろ検討したところ、「さつまいも」づくりにまずはかかわっていきこうと。あと、水田等もあったんですが、そちらの方も今回は除いて、まずは校外農園の「さつまいも」づくりに注目して進めていくことを決定しました。

1枚目に戻って、経過の方を見ていただきたいんですが、そういうニーズ調査を受けて、第9回専門部会では、そのニーズをどうやって満たしていけばいいのかということで、学校側ではなくて、今度は地域の方から、どうやってリーダー、あるいはサポーターを見つけていくか、派遣していくか、あるいはそれに伴って地元の町内会、学校関係者の方への事前の了解ということで、こちらの方も部会を受けて、町内会にあいさつに行っております。

それと、小学校はどうしても学校のニーズと、事例として他の市民農園、あと直売所を通じてという方も現在ペンディングのままでしたので、こちらの方も少し進めようということで、議論の俎上に上げました。そちらにありますように、真ん中のところが市場、直売所を通じてなんですけど、ここで大型直売所の、これは名称が決まっているんですが、JAセレサモス、こちらの概要ということで、少し説明を聞いて、そこへ取り組むのかどうか、そういうような議論をしました。

また、市民農園のところ、こちらの方には法的に困難な問題が多いと書いてあるんですが、この部分は農家の問題であったり、参加者の問題であったり、あとは相続の問題だったり、いろいろなものが複雑に絡み合っていて、ここへ手を触れるのは、もう少し様子を見てからということで、こちらはまだ調査の段階にしております。

第10回専門部会におきましては、セレサモスを通じた交流の検討をやってはどうかということで検討しました。それと、先ほどの小学校の方は具体的な取り組みとして、リーダー、サポーター、こういうものの人数、募集方法、実施内容、時期等を検討いたしました。こちらは松本委員にいろいろ地元のグループ等を調べていただいて、「木こりの会」であったり、「おやじの会」、あるいは個人で協力いただけるような方、そういう方をピックアップしていただきまして、アプローチすることの準備はで

きております。それに当たりまして、今度は小学校の方も正式にそういうような方たちが入っても問題ないですか、あるいは本当にそういうことでやらせていただいているのかということで、王禅寺小学校の方に私と副部長でお邪魔して、一応確認をとりまして、再度、どの時期からどういうことが必要かということをもう1度確認し、現在、小学校から答えを待っているという状態です。こちらの方は小学校からの返事次第によって、先ほど言いましたいろいろな「木こりの会」等を通じてか、あるいはまた個人を通じてか、どういう方をお願いするかというのを次回の部会で決定し、実行をサポートするような方向で行きたいと思っております。

その内容ですが、次のA3のペーパーがその全体像になります。A3が2ページなので、その次の3ページを見ていただいた方がよろしいのですが、これが校長先生に説明に上がったときに持参した資料になります。農業体験、食育を通じての交流イメージ、目的として、地域のつながりをつくるというペーパーなのですが、こちらを持っていきまして説明しました。地域のところは地域住民ということで、PTA、町内会、専門的なものはそんな必要ではないんじゃないかということもあるんですけども、農業従事者の方も指導者として入っていただくということで、こういうイメージ。あと小学校におきまして、その間に交流内容とありますが、これは先ほどのサツマイモの手入れを前提につくってあるんですが、農作業、畑の草取り、水やり。あとは収穫祭というのが11月ぐらいに毎年あるそうなので、そういうもののお手伝いをしていくということです。これは小学校の方で手伝いが必要です、あるいは入って協力いただきたいということであれば、ここへサポーターを募って、取り組ませていただくと思っております。

我々区民会議として何ができるかというところですが、一番左下にあるんですけども、まずは企画の周知をして、リーダー、サポーターを集める、区民会議においての広報紙だったり、ポスター等を使って募集をかけていく、そういうようなことを検討しております。

実際に、先ほど申しましたように、小学校の方から、サポーターを受け入れて、リーダーを受け入れて、実行していったいいですよということになりますと、実際にリーダー探しということが本格化してきますので、こちらの方は実際に皆さん何か案があれば、こういう方がいるとか、そういうこともご紹介いただいて、取り組んでいきたいなと思っております。

4ページのところが、先ほど一番直近の小学校を訪問したときの記録になっているんですが、今こういう形で進めていこうという、下の方に具体的な取り組み内容の検討というところがありますように、校外農園、畑を中心に取り組みを進めていく。想定される内容、手順ということで、リーダーを決定して、そのリーダーの条件はこういう人たちがいいのではないかとすることを我々が検討したものをお伝えしてありま

す。

今後の進め方のところで、いつから、どういうことにかかわるのか、かかわり方、人数、そういうところを学校からの返答に応じて対応していきたいなと思っております。

実際に進むようになりましたら、皆さんからのお力をいろいろ必要とする場面も出てくるかもしれないんですが、そのときにはまたご協力いただくということでお願いしたいと思います。

以上のところが小学校を通じて、食育の分野のところでの交流の内容なんですけれども、こちらの方で何かご意見とか、わからないところとか、かなり駆け足でご説明しましたので、何かありましたらいただければと思うんですけれども。

実際に部会で決めさせていただいたことを進めているんですが、全体的に進むことになりますと、区民会議でということになってしまいますので、できましたら今ここで何か一言言っておかないとということがあればぜひお願いします。

委員 学校側の反応というのはいかがなんでしょうか。

委員 これは前回ご報告したかどうかなんですが、学校の方としましては、できるだけ協力してほしいという要望があるんですけれども、やはり過去の経験からして、1度学校に入ってくると、学校の要望以上のことを今度学校に要求してきてしまって、学校で対処し切れなくなる。学校はそれを一番心配されていらっしゃるんですね。

委員 教育の場としてこういう農園ということをなさっているわけですよ。ですから、学校のニーズというのを的確に把握して、慎重に進めていただくということが一番いいかなと思っております。ご説明を伺って、それは大丈夫かなというように、僭越でございますけれども、そういうように感想を持ちましたので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

委員 ありがとうございます。

委員 今のことに関連すると思いますが、学校の協力を得ながら、そして、専門部会がイメージしていることに関与してもらえる方々の協力を得ながら、この事業を進めていくということで、随分お骨折りの多い仕事だろうなと思っているんですが、私も学校に関与していたことがありますので、一言、老婆心ながら申し上げたいと思うんです。学校には学校の論理があります。校長の学校経営へのビジョンというものもありますし、教職員集団には、その意向やニーズがあり、親御さんたちには、現実的理想がある中で、当世教育の目的が「人づくりより学力至上主義」の方へいつちゃっているものですから、どちらかという、国語、算数、理科、社会の学力をつけることを主眼として学校はやってくださいという雰囲気がないわけではないんですね。したがって、極端な話が、音楽や家庭科などは適当で、主要4教科をがっちりかためてもらえればそれでいいんですよというようなことを言うてくる親御さんもいるんです

ね。そういう状況の中で食育というものに、あるいは植物を育てるという体験学習の設定に、必ずしも賛意を示さない親御さんたちもいるのではないかというあたりをテイクケアしていただいて、学校の教育ビジョンといたしますか、プログラムといたしますか、カリキュラムといたしますか、それから逸脱をしないように配慮していただきながら、学校で協議して、この事業を進めていただけたらなというように、老婆心ながら思いましたので、一言つけ加えさせていただきます。

委員 今お話が出た食育の関係でございますけれども、6月6日に第5回区民会議がありました後、8月7日に、農の専門部会の皆さんにお話ししたかもしれませんけれども、食育推進会議というのが市長が会長になりまして設置されました。その前に、事前に健康福祉局が中心になりまして、各部局、横のつながりの中で、相当に食育に關します協議は部局間でしたようでございます。1冊の冊子ができておりますけれども、このように立派なものができております。そういった中で、食育基本法という法律ができて、それに対して行政が国から与えられたものでございますけれども、それを具体的に実施していくということで、それが具体化しているのが、今言いました食育推進会議なんです、それが8月に行われまして、つい最近、10月3日に食育推進会議の部会が開かれまして、その中でも出てまいりました。そのときにやはり、食育の中では、学校での食の教育、食育についてどう取り組むべきかということがいろいろ議論がありました。専門家の皆さん方が言われた中で、小さいころ、幼稚園ですとか、小学校、中学校、その辺のところからやるべきだと。その中で、今言いました「農」の専門部会で取り上げられているようなことにつきましても意見が出ました。また私の方でも、麻生区は先進的に小学校にアンケート調査をしましたので、それをぜひ参考になさってください、あるいは進めておりますという発言もさせていただきました。いずれにしても、学校の先生方、あるいは教育委員会も含めまして、こちらの方からもバックアップがあるのではないかと考えているんですけれども、それは方向性も変わってきていると思いますので、期待をしていけたらいいのではないかなというように思っています。

委員 今、資料を拝見して、会議数も大変多くて、それぞれの委員さんがご苦労されているんだろうなと思います。今、佐藤委員からも、校長先生のお話とか、学校のあり方の話がありましたが、私は高校に今非常勤で入っているんですが、そこでの例を申しますと、働いている先生たちがぜひこういうことをやりたいという、非常に熱を持った先生方がたくさんいらして、地域からのこういう呼びかけを非常に待っていらしたという事例が何件も、私自身も経験しております。ですから、その先生方の思いみたいなものも、校長先生を通す形もいいと思いますが、専門部会のリーダーの方から、先生方の生の声なんかも、管理の方を通さずに聞いていただく機会を持ていただけると、もっといいアイデアが逆にいただけることがあると思いますので、いろいろ大

変なこともあると思うんですが、頑張ってください。なかなか素敵な内容が進んでいるように思います。

委員 ありがとうございます。

今お話がありましたように、まず1つニーズを確認してということは慎重にずっとやっていますので、こちらの方は、これからも引き続き学校と調整しながら、先ほどのサツマイモも、窓口になる先生が1人いらっしゃるということなので、その先生と密にしながら、リーダーになる人、こちらの地域からもまたその人とうまく少しずつ進めていく、そういうような形を考えています。現状、こういう形で進んでいるということです。

副委員長 今、王禅寺小学校を1つのモデルとして、ここまで進んできた、学校のニーズもしっかりと今つかんでいる。どうやらいよいよ地域住民とかかわっていただく、それが区民会議のテーマである「心が響きあう地域づくり」ということですから、学校農園を中心として地域の方々とどういうふうに交流していくのか、王禅寺小学校の場合には、これで見ますと、リーダーを探しているということ为先ほど部会長からも、皆さんの中でアイデアありませんか、王禅寺小学校の学校農園の近辺ということでありました。これまでに木こりの会とか、おやじの会という、ご近所の、別の目的でつくられた組織だと思えますけれども、そういったものも1つ入ってもらってもいいんじゃないか、いろいろな方が入るとするのがこういう趣旨だろうと思うんですけれども、さて、区民会議は一体どこまでこの件についてかかわっていくのか、できるだけ早く本来は地域、住民、学校、農業指導者といいますが、そういった関係者が表に出てきて、区民会議があるところでもってバトンタッチする。言うなれば、お見合いをして、仲人的なことをやって、あとは当事者同士でひとつどうぞお茶でも飲んでくださいということだろうと思うんですが、その辺の手順といいますが、そういうのはどういうふうにかえたらいいんでしょうかね。

委員 これは先ほど申しましたように、学校の方はまず担当者の方が1人いらっしゃるということがわかりましたので、今度はこちらでリーダーになる人、あるいはグループから見つけてきて、その人とその学校の担当の先生を紹介して、それによって進めていただく。ですから、そこまでの紹介とニーズを聞いていますので、それを地域のリーダーの人にお伝えする、その中で人を集めるに当たって、人集めができないんだ、あるいは専門的なことをしたいんだけど、知っている人がいないんだということであれば、そちらの方へどういうやり方があるということをおアドバイスする、伝えていく、そういうようなことを今考えています。

副委員長 その件は多分1つタイムスケジュールとも絡みがあると思うんですね。農業ということを中心にしてると、当然季節というものが絡んできちゃいますから。そうすると、今、10月初めということになってくると、今のような直接の話し合い、リー

ダーが早く見つかるというか、見つかる過程でもいろいろな話し合いがあるんでしょう。そういったことをどういうふうに進めていって、実際にはサツマイモ農園ですか、この収穫が11月にあるようですけども、その辺から入っていけそうなんですかね。それとも、一冬越して、来年の春というふうに、時間的には半年ぐらい先に延びることなんですか。

委員 私も最後のところで先生に、最初の話は、1つの例としてというか、1つのサンプルとして王禅寺小学校ということでやりましたので、それが1つ形になれば、区の中のほかの学校にも、こういうような事例がありますから、こうしたらいかがですかというような例をつくるために今やっているわけです。そういう中で、時間が少しかかり過ぎているのかもしれませんが。実は19日に行ってきましたときに、そういった話もさせていただきました。先生方に、今からすぐに、収穫のときのこともあるけれども、どうなんだろうということでお話ししましたところ、やはり収穫だけそこから始まるというのも変な話ですし、そこらについては、もう1度先生方とよく話した中で、フィードバックしてこちらに返してくれるというようなことでお話がありましたので、そのところが最後に書いてあります内容でございます。それが来た時点で方向性が出てくるのではないかなというように思っています。

それと、さっき言いました、他の区民といいますか、そちらにどう広げていくかというのは、まず、これらのところがある程度まとまった中で少しやってみてからということになりますから、ちょっと時間がかかるんじゃないかと思います。

委員 確かに先ほどご説明が漏れたかもしれないんですが、今、学校の方から回答待ちという状態ですので、それに応じて対応していく、そういうようなことを考えております。

それと今、並行して、返事を待っておりますので、セレスモス、大型直売所ですね、そちらのほうで完成しますので、それに合わせて我々の方も何かいろいろなことを提案できないかということも部会で、まだ検討には入っていないのですけれども、それを案としていこうかということを考えておまして、そちらがA3のもので折ってあるんですが、5ページのものになります。これも部会の中で少し説明いただいたんですが、セレスモスの施設の中に、調理する場所であったり、話を聞いたりする集会所のようなところもありますので、そういうところで区民会議で何か企画して、提案、あるいは開催していく、そういうことができればいいのではないかとということで、こちらは部会の合意は得ていないんですけれども、そういうようなことを検討していくということで、この場をかりて皆さんに確認させていただくということによろしいでしょうか。そういうような方向での取り組みということを進めさせていただくということで、了解いただくということによろしいですか。

そのペーパーの3番のところに、課題の解決策のアイデアということでもありますの

で、その場を使って何かこういうことをしたいとか、こういうことをしてみたらということがありましたら、またいろいろと教えていただいで、伝えていただければなというように思います。

あと、先ほども説明しましたが、市民農園の方はまだ手つかずの状態になっているというのが今現在の状況です。

以上が「農」の専門部会からの説明になります。何か最後ご質問等がありましたら。あるいはこういうように進めていった方がよいとか、お願いします。

委員 万福寺ニンジンというのがこの辺で有名なブランドであるというふうに聞いているんですけども、そういったものを市場に出していただいで、どんどん宣伝をしていただいたらいいんじゃないかなということで、それから、禅寺丸柿もこの辺で有名ですよ。これも市場に出していただいで、やっぱりこういうものが地域にあるんだよということを出していただいたらいいんじゃないかなという話です。

それともう一つ、ノラボウ菜というのもあるそうなんですけれども、これもできれば市場に出していただいで、この辺の特産物というんですか、そういうものを全面に出していただいたらいいんじゃないかなという話です。

委員 どうもありがとうございました。そういうことも検討して。こちらの方は高桑委員もいらっしゃるので、そういうところでいろいろ我々の意見も少し加えていければと思います。

委員 ちなみに今年は禅寺丸柿は非常に実のつきが悪くて、禅寺丸ワインですとか、区民まつりですとか、福祉まつりがあるのかな、そういうときに禅寺丸を今まで出したんですけども、今年はあまり出そうもないですね。特に今年は落下が多くて、非常に少ない状況です。なかなか市場に出回らなくて、皆さん、その辺のところでは、市場に出すということまではいかないのが現状です。

委員 ありがとうございます。

委員 ここに高桑さんがおられますので、この本会議は勉強する場でもあるというように思いますから、JAセレスモスの構想が、どんなふうな状況にあるのか、その進捗状況をお聞かせいただければありがたいと思います。

それから、これは事務局に伺った方がいいのかもしれませんが、今、「農」の専門部会の報告書の中に、2ページと5ページと6ページ、3ページにわたって調査検討シートというものがついておりますが、この調査検討シートというものの見方というか、とらえ方というか、どんなふうに理解していけばいいのかが問題として感じましたので、お聞かせいただければありがたいと思います。

委員 今、セレスモスのお話が出ましたけれども、私どもで取り組んでいます、これは市と一体となりましてということでございますので、市の方と協調しながらやらせていただいでいます。予算的な措置、助成金等もいただいでいますので。その中で、場所

的なものにつきまして、それはハードの面ですけれども、今、土地の埋め立てが、田んぼですので、全て終わりました、これから11月から本格的な建築にかかりまして、3月一杯に建物ができ上がるという状況で進んでおります。まだ全体像といいますか、形としては出てきておりませんが、用地だけができておりますが、間もなく11月になりましたら、基礎ができ、建物ができる。木造の骨組みでつくりますから、特殊な構造でのやわらかい、温かい感じを出したものですけれども、93坪ぐらいの売り場になります。それから、10坪ぐらいのところ、先ほど尾中部会長から話がありましたような、市民との交流の場所、それから、農家の皆さん、あるいは消費者の皆さんがそこでいろいろ勉強したりする、農業との情報交換基地として農業振興センター等、行政とも絡み合わせました中でそれを利用しようということになっております。具体的にどう動いていますかという、ハード面の機械的なものとか、そういうものは準備中でございますので、まだできておりませんが、今まずやらなくてはならないことは、やはり地場産のものをなるべく多く出していきたいということになりますので、作付けの講習をやりまして、そういった形で、農家の人に出していただくということを前提にお願いしています。

それから、この辺の直売所は非常に小規模でございますので、例えば午前中に荷を出せば、それが終わったらおしまいという状態がほとんどですけれども、セレサモスの場合にはそうはいきませんので、時間内、開店から終了まである程度の品揃えがないと、皆さん方に飽きられてしまいますので、その辺の品揃えをするための集荷、出荷をお願いしている最中です。最低300人は出荷者が登録されていないと、なかなか集まりませんので、今、それのお願いをやっていきますことと、それから加工品ですね。農家の方でも昔から、ちょっと食育の関係の中でも、推進会議でも出てきたんですけれども、川崎でとれる、あるいは昔からあったものですか、そういうもので、農家に残っているものでおいしいもので加工ができるもの、そういったものをなるべく多くの人につくっていただきたい、それで出していきたいということで、加工の講習等もお願いして、今準備を進めています。なぜ加工かといいますと、この辺ですと端境期が必ずありますので、そのときに荷が少ない場合には困ってしまいますので、加工品ですと、かなり長持ちしますので、それで加工品をなるべく出してほしいということをお願いしている最中です。

それらのところで今は準備をしておりますけれども、何とかJAとしましても、これがJA本体でやります初めての事業ですので、失敗は許されませんし、行政等もバックアップしてもらっていますので、正式に日にちは何日とまだ決めておりませんが、4月の下旬に開店予定をしております。今ちょっと懸念されますのが、用地は約1000坪、3反弱なんですけれども、その中に建物を建て、駐車場となりますと、60台しか取れないんですね。ところが、普通それだけの面積の売り場ですと、それで

は非常に混乱してしまう。それで今私どものほうでも、近所で、費用がかかってしまうんですが、駐車場の確保をお願いしている最中です。多少目鼻がついてきているところもあるんですけども。それと合わせまして、農業振興地域ですので、行政上非常に制限が厳しくて、それをつくるにしても、なかなか認可をしていただけなかった。川崎市も神奈川県も携わっているにもかかわらず、農地法の問題ですとか、そういった中で厳しかったものですから、それらのところであわせてまた少し広げるといっても配慮していただけるような準備といいますか、お願いも今のところしている最中です。今、面積的に駐車場が少ないなということで、ちょっと懸念はしています。

いずれにしましても、来年の4月に向けて、地場産のものをできる限り多く出させていただきますように少しでも多くやってほしい。それから、場所的なものは、麻生区ですので、麻生区の皆さんはぜひ出していただきたいということなんですけど、それだけではとても足りませんので、出荷の方法としては、自分で持ってきて、もし売れ残った場合には引き取っていただくという形をとるわけです。私たちは受託をして販売するという形をとるんですけども、その辺のところについてはなかなか量が少ないということですので、久末ですとか、向丘地区からも手段は考えている最中ですけれども、そちらからも荷を出していただくような形をとらせていただくよう、今手配をしております。いずれにしましても、最新の技術を使った中で、どのくらい荷が残っていて、自分のものが、あとどのくらい必要なのかということが即わかるような形のシステム等をつくりまして、新しいシステムの中でやっていきたいというようなことで準備中でございます。今のところは順調にその準備は進んでいるということでご理解いただきたいと思います。

委員 ありがとうございます。

このシートの方は、終わりましたら佐藤委員に私が個別にご説明しますので。

これで「農」の専門部会からの説明を終わります。

委員長 ありがとうございます。「農」の専門部会からの調査検討経過の報告と事例の調査審議をしていただきました。これで終わらせていただきたいと思います。セレサモスのこともありますし、また、皆様方からぜひ何かご意見がございましたら、「農」の専門部会にお寄せいただければと思っております。また、部会の皆様には今後ともよろしくお願いたします。

イ「高齢者」専門部会からの調査検討経過の報告及び事例の調査審議

委員長 続きまして、議事の(1)のイ「高齢者」専門部会からの調査検討経過の報告及び事例の調査審議に移らせていただきたいと思います。

前回の第5回区民会議では、3つ目の事例として「高齢者」を取り上げることにな

り、専門部会を設置し、調査検討を進めてきました。その後、専門部会で部会長に菅原委員、副部会長に矢野委員が就任され、今まで数回の部会を開催し、検討されてきましたので、菅原部会長からこのことについてご報告、それから、意見交換等をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

委員 ただ今、ご紹介いただきました「高齢者」専門部会の菅原でございます。私のほかに部会のメンバーが、京利幸委員、上野浩委員、佐藤伸委員、谷川みゆき委員、矢野美千代委員、そして、私、菅原陽子のメンバーで進めてまいりました。

皆様のお手元の資料の1ページ、「『高齢者』専門部会～調査検討経過について～」というところをお開きいただきまして、まずは高齢者の部門、一口に言いますけれども、幅が大変広うございまして、どこから手をつけていったらいいか、また、部会の各委員の方たちがどのようなことを思っているかということもお互いに把握をするということも大事なことで、まずは第1回目の勉強会というのをさせていただきます。第1回の専門部会するときにも非常にいろいろな意見を皆さんとざっくばらんに話し合いました、その中からいろいろ絞り込んでいくことも出てまいりました。

第1回の専門部会ときには、麻生区役所総務企画課及び保健福祉センター地域保健福祉課、高齢者支援課の皆さんが資料をいつ聞かれてもいいという状態で私たちをサポートしてくださいましたので、それに見守られながら、本当に次々と皆さんの思っていることをごく普通の言葉で話し合いながらというようにやってまいりました。これはかなり内容が大変だな、もっともっと知らなきゃいけない部分がたくさんあるなということで、第1回勉強会というのをさせていただきます。

先ほども申し上げたように、多方面にわたるといことがありますが、皆さんの資料の2ページをお開きいただきますと、私たちの取り組みの提案という中に、事例の絞り込み、1「元気高齢者の地域参加」という項目がございますが、まずはこの辺からいってみようかという話になりました。私なんかは片平の地域、一部分しか存じ上げないところもありますので、そういうところをもっとグローバルに、麻生区全体の高齢者の方たちがどんなことを考え、どんなことをしたいと思っているか、あるいは今ある皆さんが拠点としているところが十分その力を出し得ているのだろうかというような話にもなりました。そして、まずは麻生区の中に6カ所の「老人いこいの家」という既存の建物があるという話になりまして、せっかくすばらしい地域の施設があるので、そこをもう少し自分たちも勉強して、有効に使われているのだろうか、あるいはそこを運営している人たちがひょっとしたら悩みを抱えているのだろうか、そういうところが話の中にも出てきましたので、まずは「老人いこいの家」を1つの私たちの絞り込みの場所として取り上げる方向に至りました。

その第1回勉強会の中にも、あるいは第1回専門部会の中にも、アンケートをとっ

たらどうだろうかという話が出てまいりまして、このアンケートの必要性というか、どういう意味でこのアンケートをとっていくのだろうかという話合いも大いに交わし合いました。やはり本来の「老人いこいの家」の事業、そして活動というものは、虚弱な方たちの場所である、それから、ひとり暮らしの方たちがふらっと来て、なごやかにいつでも寄って集える場所であるというのが、今後も多分これはあり続けなきゃいけない部分だとは思うんですけども、これからシニア世代の方が増えていきますので、地域に開放することがどれくらい可能なんだろうか、あるいは地域の高齢者にとって「老人いこいの家」はどのように活用されたり、どんなことを望まれているんだろうか、また、その望まれていることに近づいて運営委員会側なり、そこを盛り立てていっているメンバーたちが近づくような努力をしていただけているんだろうか、そんな話も出てきておりまして、高齢者がこれからどんどん社会参加を今以上にしていきたい。そのためにはそういう活動をする拠点も必要であるということで、「老人いこいの家」のあり方の、虚弱な方、あるいはひとり暮らしの方がふらっと来て、心地よく過ごすというエリアだけではなく、そういう方たちがよりどころとなるような余裕というか、どのくらいそういうことが開放されるのであろうかということ进行调查したいというのが、アンケートをとる目的といいますか、そのアンケートの結果によって、私たちがいろいろ課題にするものがもっと具体的に出てくるのではないかなと思っております。

第2回専門部会は、事例の調査検討ということで、アンケートのこともありますが、「老人いこいの家」に関する、今までまとめてこられた資料、「老人いこいの家」を拠点として、今もなお頑張っているボランティアの人たちの存在、それから、そこで活動している高齢者の方たち自体が外に出て行ってボランティアをしているという実態もちょっと垣間見ることがありました。そういう資料等も踏まえまして、第2回の勉強会に至ってまいります。

実はアンケートをとりますときに、2つの方向からみんなの意見を聞いたらどうかということで、1つは皆さんのお手元の4ページから8ページに、「老人いこいの家」の利用者に対するアンケートという項目が何枚かございます。これは京委員、上野委員、佐藤委員の3人が練りに練って、みんなが出した意見を取りまとめてくださって、要約してくださっています。

それから、その先の9ページから15ページに至りましては、「老人いこいの家」を運営している運営委員会というものが各「老人いこいの家」にはありまして、15人から、多いところでは20人ぐらいいらっしゃると思うんですが、その方たちも本当に試行錯誤されている現状かと思えます。そういう方たちのご意見も伺いたい、あるいは指定管理者になっていらっしゃる組織の方たちにも、そういうアンケートをとらせていただいて、いろいろお考えを聞いてみたいという形で、これは谷川委員と菅原でい

ろいろ案を出した中に、他の4人の委員の方たちも、こういうのはどうか、こういうのはどうかということでお出しいただいたものを谷川委員がまとめてくださっています。そのアンケートを出すことによって、私たちの動きがこれから出てくるので、今何となく足踏み状態の現時点です。

第2回勉強会は、片平老人いこいの家に行ってみようということで、現場をまず見るということで、全員参加で見学しました。そして、その「老人いこいの家」の部屋を使わせてもらって、そこで勉強会の後のフリートーキングなり、煮詰めをいたしました。「老人いこいの家」の現状と課題についてですとか、今後の検討事項についてですとか、それから、運営委員会の方たちが持っている問題というか、あるいはSOSを求めている部分もあるかと思いますが、そんなところも大事にしていきたい。

それから、ずっと昔ですが、皆さん、区民会議の委員の方、あるいはその他の方から、高齢者に関する提案課題というのをお出しいただいて、それも拝見しまして、そういうものも他の委員の方たちとしっかり見つめながら進んでいきたいと思っています。やはり地域拠点施設のコミュニティ拠点というものを、役割がどうなっているのか、「老人いこいの家」に関してでもそうですが、そのアンケートもいただきながら、もう1回ここで考えていきたいと思っております。

先ほどの「農」の専門部会と違いまして、右半分はずっと白い状態でございますので、これから文字が足されていくかと思えます。

また、このアンケートに関しましては、今までも専門部会でいろいろ練らせていただいておりますので、今後もこのアンケートの内容等につきましては、次回、また専門部会で再び私たちが一生懸命練らせていただいて、もしお任せいただければありがたいと思っています。

私も言葉足らずですので、アンケートをつくった時のことですとか、それから、片平老人いこいの家をお訪ねした時のことですとか、その他委員がおりますので、上野委員とか、佐藤委員とか、谷川委員とか、私が申し上げた以外のことでフォローしていただけたらと思います。よろしくお願いします。

皆さん本当にすばらしくて、真ん中にそれぞれが歩み寄るといって、すごく楽しいと言っはいけないですけども、部会を何度か開かせていただきました。

委員 今日で60歳代を卒業しまして、私もいよいよ70代になってきました。今日は私にとってはそういう特別な日なんです。そんなことで、私も老人の域にあるわけなんですけど、この片平老人いこいの家を初めて拝見したわけですね。老人という名前がつく施策というのは3つありまして、施設的には「老人いこいの家」、それから、「老人福祉センター」というのがあるんですね。これが各区に1つずつあるわけです。それからもう1つは、そういう施設じゃなくて、ソフト的な老人クラブというのがあります。この3つがありまして、これがそれぞれ独立した活動をしている。しかも、割と似た

ような活動もしているんですね。そんな前提が、いろいろなことでわかってきました。

私は片平と、もう1つは、私が住んでおります王禅寺の「老人いこいの家」をこの間拝見したんですけれども、やっぱりそれぞれの個性がありまして、片平は、老人はこんなに惨めというか、寂しいようなところに追い詰められているのかなという感じがしたわけです。場所もそうなんですけれども。王禅寺へ行きましたら、王禅寺も外れの方にあるんですね。森の方であって、何となく暗いようなところにあるんですが、行ってみましたら、片平とはかなり違うんですね。できたのが王禅寺の方が古いんですね。しかしながら、そこにある小さな庭とか、そういうのが王禅寺の方はきちっと整備されています。それから、立ち木もきちんとしていて、その辺のところメンテナンスされているというようなことだけでも、非常に違うんですね。そこで少しは安心したわけなんです。

この市政だよりを見ますと、6ページのところ、麻生区のいろいろな施策がありますけれども、その中で麻生区と書いてあります、その下のところ、5行目ぐらいのところ、小さな字なんですけれども、麻生区内複合福祉施設の開設とありまして、括弧として北部リハビリテーションセンター・百合丘老人いこいの家（2008年度）、新しくこれが開設されるというニュースが出ております。この市政だよりは私も前に拝見しまして、これはなかなか期待が持てる施設ができるかなと思ったわけですね。

といいますのは、「老人いこいの家」は、どちらかという、みんな寂しいところにある。そこに行かなきゃならない。しかも、自動車はとめてはならない。したがって、足で歩くような、そういうエリアの中にあるわけですね。今度新しい百合丘にできるという施設が、隣に小川委員がいらっしゃいますけれども、百合丘の町がこれによって少し変化ができるような施設になるのかなという期待を実は持っております、これはどんなふうになるものかということをお尋ねして、ご回答をいただければ大変ありがたいわけです。それが1点であります。

それから、先ほど老人の施設というか、施策が川崎で3つあると申し上げましたけれども、これはおのおの余りリンクがない。したがって、これからこういう3つの施策をうまくリンケージをとって、元気な老人の人たちがもっともって増えるというか、元気な老人の人たちをメンテナンスしていくというようなことにこれを活用していくということが、これからの非常に大きなポイントなのではないかと思いました。したがって、そういうリンケージをどのようにしてつくっていくかというのが、恐らく私どもに与えられた高齢者の問題の1つのテーマかと思っております。

事務局 事務局から、百合丘にできる「老人いこいの家」についてお答えします。「老人いこいの家」は、こども文化センターと同様に中学校区に1つずつとい形で整備することになっておりまして、この校区にまだなかったことから、地域のリハビリテーシ

ョンセンターとの合築で建設されるというようにお聞きしております。詳しいことは健康福祉局で担当していますので、29日のタウンミーティングにぜひいらしていただいて、意見書という形、質問書ということでお出しただければ、その場で回答が出るか、またはなくても、後日詳しいことが回答されますので、そこに委ねていただければと思います。

委員 大いに期待しております。

ついでで申しわけないんですけども、私が住んでおります王禅寺の地域では、白山地域と小学校、中学校が統合されます。したがって、白山の小学校と中学校がいずれ空くわけですね。ああいうものがこれからどういうふうに使われるのかという構想があると思うんですけども、つぶしてマンションにしてしまうということもあろうかと思っておりますけれども、余りそういうことをせずに、少なくともどっちは、高齢者の関係の福祉の集まる大きな、しかもあそこは交通が便利なんですね。そういう至便のところにお集まりされるような施設をきちんと開設するということをぜひ麻生区の構想として持っていただきたい、そういうふうに要望します。

事務局 先ほどの説明の中で、区の計画がこの冊子に載っております、228ページに、今の部分は一番最後のところに、学校適正配置推進事業というところで、この新実行計画の中にも載せております。この中で地域懇談会の運営という形で、統合後の学校の使い方とか、そういったところも含めて、地域の方との懇談会というのを運営しております。そういった中で今後の施設の運営について検討されております。これもタウンミーティングで議論になるかと思っておりますので、よろしくお願ひします。

委員 アンケートのことについてちょっと触れたいと思っておりますけれども、私は利用者のアンケートを担当しましたが、アンケート項目が非常に多いんですね。高齢の方々にこれだけ処理していただくのは大変お気の毒だなと、つくってそう思いました。したがって、内容の検討と同時に、分量の検討についてもやらなきゃいけないなと思っております。

2つ目ですが、余計なことですけども、この間、北京に行ってまいりましたが、こちらで高齢者の専門部会に所属しているものですから、中国の高齢者の動静を見つけておりました。ご案内と思いますが、天壇という公園がございまして、そこに朝行ったんですが、とにかく、どこからわいてきたのかなというほどの人間がおりまして、それが老人もいますし、若い人もいますが、とりわけ目についたのが、老人たちの姿でした。何をしているかといいますと、まずは太極拳をやっているグループ、それから、武術をやっているグループ、ダンス・卓球・バドミントン・新体操・リボンをやっているグループ、合唱をやっているグループ、中には独唱をやっている人、それから、合奏をしている人たち、独奏をしている人、などとにかく多様な活動をしているんですね。実に意気軒昂で、活力のある朝の余暇の利用というか、運動と

というか、それをやっているわけですよ。それを見て、いやあ、中国は政治も経済も今発展途上で勢いがありますけれども、中国人民も活力あるなと思って、大変印象深く見てまいりました。

もう1つ気がついたのは、老人の中に入って、若い人たちも一緒にやっているということですね。私たちはどちらかというところ、高齢者問題というのは、高齢者に限定したような格好でいろいろな段取りとあります。施策をしがちですけれども、やっぱりある視点としては、若者と一緒に老人も活動するという、そういう場面、条件というものをつくってやる必要があるのではないかと、そういうところで異世代のうまい交歓だとかといったようなことが生まれてくるのではないかなという感想を持ちました。

委員 他の委員はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

今2人の委員から、私の足りない部分をサポートしていただきまして、ありがとうございました。

資料2のところの行政の取組みの仕方というところに、もう1つ区民等の取り組みというのがありますが、ここには文字的には載っていないんですけども、麻生区の中で今いろいろなところを拠点として、私のまちの健やか活動という、元気なお年寄りたちをおうちの中にもってもらわずに、引っ張り出そうという活動なんです。そんな数多くの活動があります。

それからもう1つは、これも今始まってほやほやのところなんです。さっき佐藤委員が言われたように、高齢者だけで何か活動するというのではなくて、地域みんなが声かけ合って、寄り合っているというのが本来の区民の我々の生活の本当のあり方ですので、その1つでもあるんですが、ふれあい交流サロンというのを今実験的にしているところがあります。これがうまくいきますと、もっと麻生区の中にあっちこちに増えていけばいいなと思いますが、それは今実験中のような形で、市民の人が試行錯誤して、予算のないところでやっているものですから、そんなことも高齢者がもっとよりいろいろな方と出会って、自分の持ち味を逆に地域の方たちに提供していただいて、そこで親睦が深まるみたいなことも構築していけるのではないかなと思っております。

3ページの先ほどのアンケートの利用者や運営委員の方に差し上げる文面というのも、京委員が主軸になってつくっていただいておりますが、これももう少し「高齢者」専門部会で練らせていただきたいと思っております。できれば、利用者に対する言葉をもっと少しやわらかい言葉で、もう1部違うつくり方をしたらどうかと思っております。

最後に、16ページの資料を開いていただきますと、先ほども申し上げたように、「元気高齢者の地域参加」だけではなくて、次からは、ある程度進みましたら、今度は虚

弱な方たち、要介護の方たちの高齢者の方の見守りをどのようにしていこうかということは、矢野委員は今日ご欠席ですけれども、矢野委員を中心として、みんなでもた勉強しながら進めていく方向に動こうかという話までは出ております。

以上、申し足りないというか、なれないことなので、短い時間でしゃべるのが私は一番苦手でございますが、大変失礼しましたが、何か先ほどのアイデアですとか、こんなことをしてみたらどうかなんていう皆さんのご意見がありましたら、またここでちょうだいしまして、「高齢者」専門部会で考えさせていただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

委員長 菅原部会長から今まで「高齢者」専門部会について、いろいろと経過報告、審議経過等についてお話しいただいたのですが、ここで時間が大分過ぎていますものから、少し議事を進行させていただきたいと思っております。今、「高齢者」専門部会でアンケートを考えておられるようなのですが、まだ手直しをしたいとか、それから、もう少し検討してやっていきたいというようなご意見もあったようなので、この件につきましては、全て「高齢者」専門部会に一任させていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

それでは、他にもまだ意見はあろうかと思いますが、できれば個別に「高齢者」専門部会の委員の方々にご意見をおっしゃっていただいて、部会で取り上げていただければと思います。次回のときにご発表いただきたいと思います。ありがとうございます。

それでは、「高齢者」専門部会の審議をこれで終わらせていただきたいと思います。部会の委員の方は大変ですが、またよろしくお願いいたします。

(2)「(仮称)麻生区民フォーラム」の開催について

委員長 続きまして、議事の(2)「(仮称)麻生区民フォーラム」の開催についてに移らせていただきたいと思います。

(仮称)麻生区民フォーラムの開催につきましては、企画部会からの提案でございますので、石田部会長から説明をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

副委員長 それでは、企画部会から1つご提案をさせていただきたいと思っております。

既に資料はお手元にあると思っておりますが、資料3でございます。これに沿いまして説明したいと思っております。

ここにありますように、(仮称)麻生区民フォーラムを開催したいということの企画、提案でございます。前回の第5回区民会議が6月6日に開かれました。この区民会議は昨年7月に第1回が開催されましたので、前回第5回をもちましてちょうど1年、麻生区区民会議としては経過したということでございます。ということで、前回の区民会議が終わりました直後に開かれました企画部会の打ち合わせ会でございます。

すけれども、そこで、この1年間を振り返って、麻生区の区民会議が「心が響きあう地域づくり」、こういうメインテーマを掲げて取り組んできたわけでございますけれども、その取り組みの審議、調査、そして取り組みということになりますか、そういったことが成果がどうだったんだろうか、さらには課題があったんじゃないかとか、そういったことを1年経過した時点で検証してみようということで、企画部会の中でいろいろと検証してみました。

そういった中で結論的に言うと、区民会議並びに区民との対話集会的なものをこの機会に1度持つ必要があるのではないかという意見が出てまいりまして、では、その内容について検討してみようということで、都合4回の企画部会、打ち合わせ会を通しまして、企画部会案を作成したということでございます。この企画部会提案に関しまして、この本会議でご審議いただき、何らかの成案を得たいと思っております。

企画部会の1年の反省、論議の中で、区民会議のメインテーマというのは、あくまでも「心が響きあう地域づくり」、中には「あいさつがはじまり」ということも副題としてありましたけれども、こどもの見守りという事例にいたしましても、こういったことは今申し上げたような「心が響きあう地域づくり」の1つのツールである、こういったことが必ずしも区民に対して十分に説明されていないのではないかと。もしくは区民にまだご理解されていないのではないかとといった懸念、意見なども多く出されたわけですね。そういった討論の中で、区民に対して、より一層の麻生区区民会議が何をやっているかということの周知説明、そして、区民会議が目指している、そういった課題の解決というものを、区民が各地域で、地域地域に見合った、いろいろな事情が地域地域によって違うでしょうから、一律的なことをどうこうするものではなくて、地域で見合った「心が響きあう地域づくり」、といった取り組みに区民の方々が進んで参加されるように、さらに呼びかけたい、こういうことで、これまでの区民会議の審議の内容の報告とあわせまして、地域での取り組みが期待されている、例えば地域地域の自治会、町会を初めとした関係団体、もちろん広く一般区民といいますが、広く区民の参加を得て、区民会議、区民との対話集会、ここにありますように（仮称）麻生区民フォーラムと名づけておりますけれども、これの開催を提案しようではないかということが経緯でございます。

それで、内容的には資料がございまして、既に皆様お目通しだと思いますので、ざっとご説明いたしまして、その後、審議に入っていただきたいと思っております。

資料3の最初に開催趣旨、ここが一番重要でございますが、これまで説明申し上げてきましたように、これまでの区民会議の審議結果及び地域での取り組みの状況について、その成果であるとか、問題点などを検証しつつ、区民に対してこれまでの経過報告を行うということです。あわせて、区民会議の趣旨・役割などをいろいろな事例の中から具体的に説明しまして、住民の発意と工夫、これを大事にした地域に見合っ

た課題解決に向けてのより一層の区民参加を呼びかける。大きくこの2点がフォーラム、対話集会の趣旨でございます。

2番目に、主催、これは麻生区区民会議でございます。

日時でございますけれども、日はどんどんたってしまうわけで、なるべく早くということもあったんですが、やはりそれ相当の準備をするためには今から準備して年内というのは難しいかな、どうしても早くて2月になるのではないかとということで、会場の手当などもありますので、いろいろ検討しました結果、具体的には日にちは来年の2月23日の土曜日の午後を当てたい、午後2時から5時と押さえておりますが、この日程でどうだろうか。会場的には2月24日も予備として押さえてございます。

会場もこれはいろいろ手を打ってみたんですが、当てにしていたところが既に予約されているということで、区役所のこの部屋と第2会議室をあわせて使おうということで、150名ぐらいは収容できるということなので、逆な言い方をすれば、150名ぐらいお集まりいただいて、参加をいただいて、この集会を持ちたいということでございます。

そして、内容でございますけれども、これはあくまで案でございますから、これからしかるべく詰めるわけですけれども、考え方としては、3部に分けてやろうじゃないかということで、1部は経過報告ということで、これまでの区民会議の審議経過報告ということになるかと思えます。農、高齢者、きょうそれぞれ専門部会からこれまでの経緯、現在の状況についてご説明がありました。来年の2月ということでございますから、さらに進んでいくと思えますので、その状況によってこの経過報告の内容は変わってくるかと思えますけれども、基本的には審議だけではなくて、区民会議としての取り組みが進んでいる、そういった状況を核にした経過報告になるかと思えます。

そして、休憩を挟んで第2部が、地域地域での審議経過を受けての取り組みの事例報告ということを考えております。したがって、その時点でやっぱり核になるのは、地域のつながり、あいさつがはじまり、こどもの見守りなどになるかと思えます。それにさらに農が進んでくるのではないかと考えておりますので、農の事例報告なども入ろうかと考えております。

そして、第3部は、これは一番重要だろうと思えます。時間的にも多くとりたいたいと思っておりますが、会場に来られた方々を交えての全体討議、フリーディスカッション。ただ、テーマとしましては「『心が響きあう地域づくり』に向けて私はこう取り組む」ということで、実際に取り組んでいる事例もしくは取り組もうとしていることをそれぞれ皆さん方からご紹介していただけたらなということで考えております。

以上で3時間ぐらいの時間。そして、こういうかたい内容だけでは何かと思ひまして、アトラクションを一番最初に取り入れて、麻生区は幸い音楽の麻生でございます

から、また、現在、ランチタイムコンサートが非常に好評でございますので、その出前という形でアトラクションをつけたらどうかという案でございます。

次のページで、参加対象は当然区民全般、そして、関係の区内各団体ということになるかと思えます。特に地域づくりというものに取り組んでいる、もしくは取り組もうとしている町会・自治会・地域グループ、こういったところにはぜひ参加していただきたいと思っております。また、区民会議には各種団体を代表されて委員が出ておりますので、そういった各種団体の方々に組織、団体といたしましては、ぜひ当日ご参加をいただきたい、こう案としてつくっております。

広報などは積極的に、広報は非常に重要だということでございますので、ここに書いてあるようなメディアなどを使って広報していきたい。こういった中でも各種団体の広報というのを非常に期待したいと考えております。

運営でございますけれども、運営は区民会議の委員全員参加というふうな、精神的にはそういうふう考えております。もちろん皆さんいろいろとご事情もおありでしょうから、すべてがひとしくということにならないかもしれませんが、できるだけ全員がそれぞれ出せる力を出していただいて、こういった会を運営していきたいと思っております。

どんなことをやるかという主な役割分担を一応拾い出してみました。事前の準備と、それから当日というふうに当然分けられますけれども、ここに書いてありますように、まずは事前の準備ということでは、企画ですよね。これまで申してきましたように、1部、2部、3部でこういうことをやるとか、案として出していますけれども、具体的にはどこのどなたに来ていただくのか、来ていただいて事例報告をしていただくのか、もしくはアトラクションは具体的にはどの方をお願いするのか、そういったような企画を詰めていかなければなりませんから、そういった企画的な仕事があるかなと。さらには渉外といいますか、出演者と言ったらあれですけども、当日ご意見を発表していただいたりする方々への交渉事なども出てくると思えます。これも委員の中でやらなきゃいかんかなと。それともう1つ重要なことは広報ということも委員の20名の中でやっていこうじゃないかということでございます。

当日につきましてはまたさらに進んだ段階でこういうものが多分出てくるのかなと思っております。

何かやれば必ず費用がかかるわけですけども、この件に関しましては、まだ概算も出しておりませんが、一応財源としましては、協働推進事業などの予算から何とか捻出をお願いしたいと思っております。

最後に、事務局は区役所の区民会議の事務局と同じでございますけれども、総務企画課企画調整担当というふうに考えております。

駆け足でしたけれども、以上が企画部会で案をつくりました（仮称）麻生区民フォ

ーラムについてでございます。これにつきましてぜひご審議いただきたいと思っております。

委員長 ありがとうございます。ただ今石田企画部会長から、麻生区民フォーラムの開催に向けての説明がございました。何も無いところで審議するのは非常に難しいので、企画部会でおよそのアウトラインをたたき台として出してみました。こういう形でやるのですが、どうでしょうかということで、このフォーラムの開催について審議してまいりたいと思います。今のご説明でいろいろご意見やご質問がおりかと思っておりますので、ぜひお願いしたいと思います。

委員 この運営なんですけれども、区民会議の全員が参加ということは非常に結構なことだと思います。しかし、実際に運営に当たるのは、この全員が何回か会合を開くというのは無理ではないかと思うんですね。ですから、運営委員というのを選んでいただいて、その方たちにある程度運営をお任せしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

委員長 ありがとうございます。神本委員からは、運営について実行委員会形式でやるかどうかというご提案だったと思います。委員20名全員がこれに当たりたいと思いますが、細かいことを詰めていったり、準備したりするということは、なかなか皆さんのご都合をまとめるのも難しいですし、それから、動ける人と動けない人とやはりおありだと思います。それで、今のようなご意見が出たと思います。それも含めてご意見、お願いしたいと思います。

それでは、このフォーラムの開催についていかがでしょうか。このような目的、いわゆる開催趣旨は、今、石田部会長からご説明がありましたので、おわかりだと思いますが、このような形でフォーラムを開催しようということにつきましていかがですか。これに何かご意見がおりの方。よろしく願います。

委員 この区民会議の広報、谷川委員も入られて2人になりましたけれども、かなり頻繁に皆さんの手元に区民会議ニュースというのが入ってきていまして、あれはすごくいいなと思っています。やはりじっくり配付されたものを見るということもできずにいる方たちもいるかと思っておりますので、なるべくこういう呼びかけで広く麻生区にお住まいの方たちに区民会議のことを知っていただく機会をつくるということは非常に有意義ではないかなと思います。本当に広報の方たち、いつもお疲れさまでございます。いろいろな方の写真が載ってまして、会議に1回でお会いするのではなくて、そのときの写真を見ながらいろいろごあいさつしております。

委員長 ありがとうございます。今、菅原委員からは、開催について賛成ということでよろしいですね。区民の方たちと対話をするということは今まで行われてきませんでした。ただ一方的にこちらで広報はいたしますけれども、区民の方たちと忌憚のない意見交換をする場というのは今までなかったと思います。それで今回のフォーラムの

開催をとということが上がってきました。きょうは前段の方でたくさん時間をとりましたものですから、規定の時間になってしまいましたけれども、発言をとめるわけではありませんが、もしご意見がないようでしたらば、このフォーラムを開催する方向でよろしいでしょうか。反対の方がありましたらばご意見をお願いしたいのですが。よろしいですか。それでしたら、仮称ですが、麻生区民フォーラムの開催ということで行っていきたいと思っております。

それでは、次に、実施体制について審議していきたいと思っております。先ほど神本委員から運営委員会というのでしょうか、実行委員会の方が何かいいような気がいたしますが、このフォーラムを実行するに当たっての委員会を設置するべきではないだろうかとのご提案がありました。また、たたき台はできていますが、もう少し詰めていかないといけないと思っております。それで、次回の区民会議までに成案を出せるようにしていくということで、実行委員会を設置することについてご意見ございますでしょうか。

ご意見がないようでしたら、実行委員会を設置するというところで進めさせていただきたいと思っております。

実行委員会は、一応ご希望でやっていきたいと思っております。でないと、非常にお忙しい方もいらっしゃると思いますので、ぜひ立候補していただきたいと思っておりますので、よろしく願います。どなたか、私はやってもいいですよ、縁の下の力持ちになっていいですよという方がございましたらば、挙手をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

上野委員、佐藤委員、神本委員、守田委員、他にございませんでしょうか。今4人挙がっていますが、小川委員。私も責任上は委員として参加させていただきたいと思っております。

副委員長 何となく企画部会が委員になっちゃっているみたいなんですけれども、やっぱり企画部会は逃げるわけにいかないでしょうから。ただ、企画部会員だけでという形にならないように。皆さん、私は絶対手伝わないよという方は多分おられないと思いますので、これから先、具体的に詰めていく中で、それこそ、これはぜひこの方ということで、とりあえず仮の実行委員会をつくっておいて、必要に応じてといいますか、お力をかりたいときには声をかけて参加してもらおうという形、そういった委員会にしたらどうでしょうか。最初から何人で決まりということではなくて。

委員長 専門部会と違いますので、何人ぐらいがベターということは申し上げませんので、どなたでも参加できるようにはしていきたいというように思っておりますので、またちょっと考えたけど、参加してもいいなという方は、ぜひ事務局にお申し出いただければ、この後からでも2回目、3回目以降からでも参加できるという形のフレキシブルな実行委員会にしていきたいと思っておりますので、今手を挙げない方も、後

で考えたけど、できるときは参加しますという方がありましたら、お申し出いただきたいと思います。

それでは、フォーラムのことにつきましては、実行委員会に細かい内容の検討をお願いするというところで終わりにさせていただきたいと思います。

委員 今日、欠席なさっている方はどうなるのでしょうか。その方たちにも一応なっていたかどうかはお聞きしたほうがいいと思うんですけども。

委員長 それでは、事務局から、今日、欠席の方にフォーラムの開催がこの区民会議で決定した旨をお伝えいただいて、実行委員会の参加の呼びかけもお願いするというところで処理させていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

それでは、参与の方に、せっかく長時間ご出席いただいておりますので、ご意見とか、ご助言をお願いしたいと思います。伊藤参与。

参与 市議会議員の伊藤久史です。長時間にわたりまして熱心なご討議、本当にお疲れさまです。

私どもも、今日、9月3日から始まった9月議会が終わりまして、ほっと一息というか、そんな時期なんですけれども。先ほど出ていました麻生区にできる百合丘の「老人いこいの家」の件などは、私たち民主党の代表質問でも取り上げさせていただきました。今回初めてのケースですので、有効的な施設になるようにということで、健康福祉局にもそうした要望を出させてもらったところであります。

また、食育についても、私たち民主党のマニフェストでうたわせていただいておりますので、それもこちらの麻生区で熱心にやっていただければいいなと思います。

全体的には、ちょっとだけ要望をさせていただくと、大まかでいいんですけれども、目標スケジュールというか、そうしたものがあると、かたわらで聞いている私たちの頭の中にも、どんな形で進んでいくのかなというのわかるのかなと思いました。今回はフォーラムの開催ということで、2月23日にフォーラムがありますから、それまでにある一定の何かを出すという形で部会のほうで進んでいくのかなと思うんですけども、そうしたところがあると、聞いていておもしろいと言っては申しわけないんですけども、具体的に一緒にになれるのかなというふうに思いました。これからまだまだ課題が山積だと思うんですけども、今回一緒にお聞かせいただきまして、こういったご意見を市議会の中でも麻生区の代表ということで、皆様の意見を反映させていただけたらと思います。今日は私どもも勉強させていただきまして、本当にありがとうございました。

委員長 勝又参与、お願いいたします。

参与 区民会議には、4月に当選させていただいて、2回目の参加ということもありまして、1回目は聞いていて、何だかよくわからないという感じもあったんですけども、2回目、今日参加させていただいて、2回目ですから、偉そうに言えないんです

けれども、おおよそ流れがわかってきました。先ほど「農」の報告の中にあった大型農産物直売所の件については、私もあの辺、よくはるひ野に行く機会があつて通りながら、これがどういうふうな形になっていくのかなとすごく関心を持っているのと、早野の方でこの前火事がありまして、あの辺でも農産物をつくっている方が農家を続けられるかどうかというような、そういうふうな心配もあるということで、この農産物についての取り組みというのが関心があつて、学校関係の農産物の取り扱いというか、その流れとは違うかもしれませんが、その辺にはすごく関心を持っているところです。

あと、「老人いこいの家」については、私も何カ所か「老人いこいの家」に行ってきましたけれども、先ほど報告がありましたように、場所によっては何となく暗いイメージのあるところというのを聞いてきて、そういう感じも確かにあるなということで、中国の方ではこうだったという話も先ほど経験されたことをお話しされていましたが、やっぱりお年寄りの方だけが集まる「老人いこいの家」ではなく、若い人たちとの連携も含めた取り組みというのをやっていけないかなということが話に出ていましたけれども、私もその辺のことはそれについても関心のあるところですので、これから皆さんといろいろなことで取り組みを報告し合う、検討していくのにぜひ参加させていただきながら、さらに勉強させていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

委員長 ありがとうございます。ただ今のご助言については、また私たちも検討させていただきます。ありがとうございます。

4 その他

第7回麻生区区民会議の日程について

委員長 それでは、最後の「その他」に移らせていただきます。事務局、お願ひいたします。

事務局 事務局から会議日程について事務連絡

5 閉会

委員長 それでは、長時間にわたるご審議ありがとうございました。また、議事の進行へのご協力ありがとうございました。

これで第6回麻生区区民会議を終わらせていただきます。ありがとうございました。

午後8時23分閉会